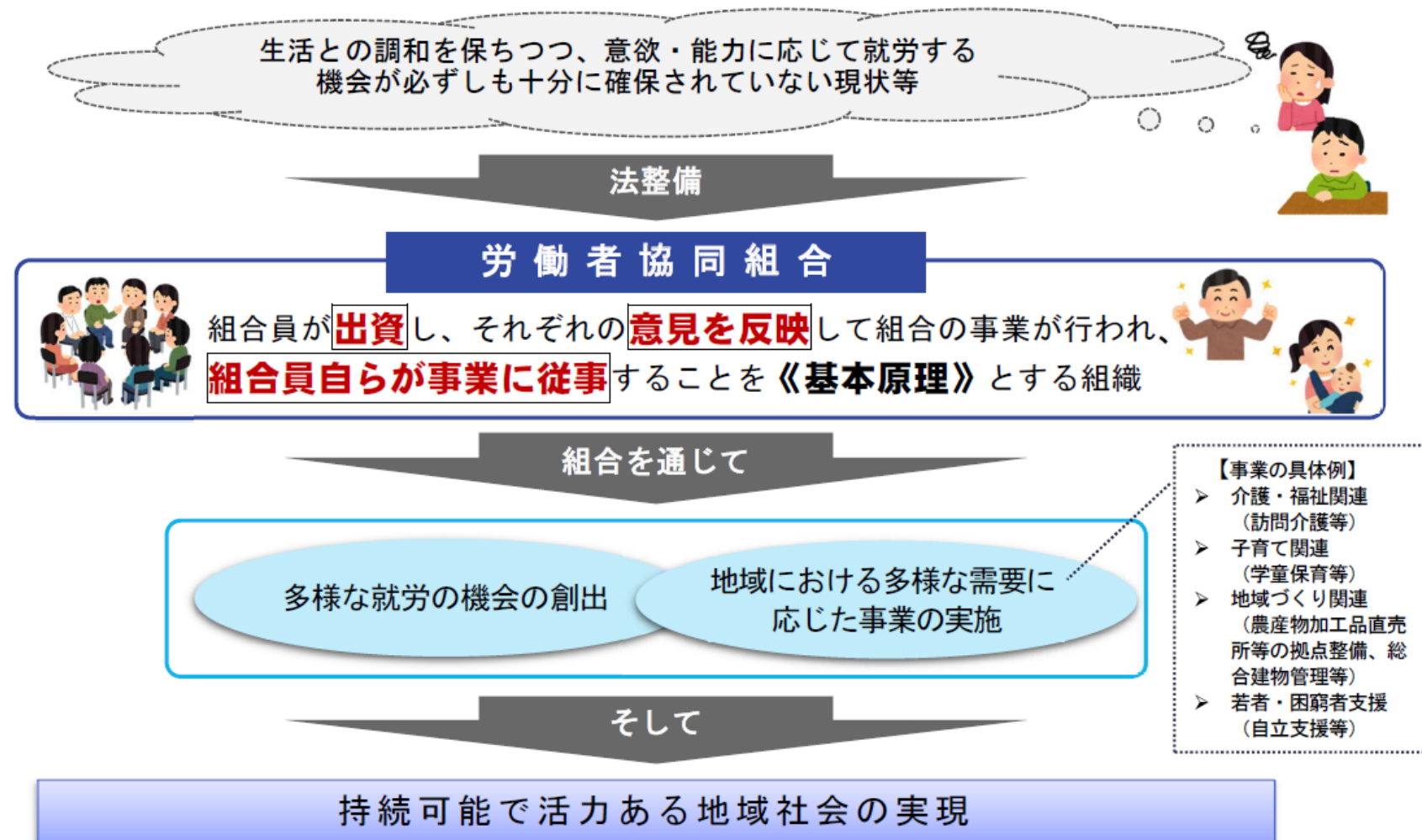


労働者協同組合法 第一条(目的)



この法律は、各人が生活との調和を保ちつつその意欲及び能力に応じて就労する機会が必ずしも十分に確保されていない現状等を踏まえ、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、及び組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織に関し、設立、管理その他必要な事項を定めること等により、多様な就労の機会を創出することを促進するとともに、当該組織を通じて地域における多様な需要に応じた事業が行われることを促進し、もって持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とする。



労働者協同組合の基本原則 「協同労働」



基本原則

- (1) 組合員が出資すること
- (2) その事業を行うに当たり組合員の意見が適切に反映されること
- (3) 組合員が組合の行う事業に従事すること

資金を出し合う

組合員には出資の必要があり、組合員自らが出資することにより組合の資本形成を図ります。これにより組合員による自主的・自立的な事業経営を目指します。

共にはたらく

組合員には、原則として、組合の事業に従事する必要があります。ただし、育児や介護等の家庭の事情等で一時的に働くことができない場合などの例外も認められています。

話し合って営む

組合員は、一人一票の議決権及び選挙権があり、組合員の意見を反映して事業・経営を行います。意見反映の方法は定款に定め、また総会でその実施状況及び結果を報告しなければなりません。

◎基本原則◎

「出資」

一人一票

「意見反映」

話し合い、合意形成

「従事」

共にはたらく

設立・登記された労働者協同組合法人(2023/2/3現在)



- CampingSpecialist労働者協同組合(三重県四日市市)/キャンプ場運営、開発、コンサルタントなど
- 労働者協同組合ワーカーズ葬祭&後見サポートセンター結の会(東京都新宿区)/葬送・成年後見サポートなど
- 労働者協同組合ワーカーズコープありあけ(福岡県大牟田市)/清掃、高齢者支援など
- 労働者協同組合コモンウェーブ(三重県鈴鹿市)/障害福祉、児童福祉など
- セルプはりま労働者協同組合(兵庫県姫路市)/障害福祉など
- 近畿労働者協同組合(大阪府大阪市)/生コンクリート製造、運送など
- TNG労働者協同組合(神奈川県足柄下郡)/システムインテグレーション、ソフトウェア開発、導入支援コンサルなど
- 労働者協同組合あるく(熊本県熊本市)/障害者福祉など
- 労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブLavori(神奈川県横浜市)/家事代行サービスなど
- 鹿児島労働者協同組合(鹿児島県鹿児島市)/共同生産・加工・販売など
- 労働者協同組合ワーカーズコープちば(千葉県船橋市)/清掃、物流、介護、食、困窮者支援など
- 労働者協同組合かりまた共働組合(沖縄県宮古島市)/食・加工販売、清掃緑化など
- 労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブ・キャリー(神奈川県横浜市)/配送など
- 労働者協同組合ワーカーズコープSii(埼玉県草加市)/親子ひろばなど
- アメニティ工房労働者協同組合(愛知県阿久比町)/農産物加工販売など

※設立及び移行総会終了組織(日本労協連調べ)/労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団、労働者協同組合ワーカーズコープながの、労働者協同組合土佐共同組合、労働者協同組合ケアワーカーズコープ北海道、労働者協同組合はんしんワーカーズコープ、労働者協同組合ケアワーカーズコープわたすげ

立ち上がる労働者協同組合の特徴



■「稼ぎ」と「生業」という複業スタイル

- ・本業(勤め、自営)を続けながら、協同労働を始める人たち
- ・「稼ぎ」とは別に、「地域のため・自分らしさ・仲間と共に」に思いを置いた「協同労働」を
- ・昔の「百姓」のような、一人ひとりが多様な仕事を手掛ける傾向

■「〇〇法人」と「労協法人」のハイブリッド

- ・自治会をベースに立ち上がる労働者協同組合～人と仕事が他の地域と結ぶ
- ・NPOや一般社団など他の非営利法人を残しつつ、事業と労働を労働者協同組合に
- ・「働く人」しか組合員になれない限界をカバーする
- ・働く人、利用する人、応援する人などが多様に交わり関わる挑戦
- ・他の組織とのネットワーク化に際しても、多様なフェーズがあることが効果的

—自治会を母体に労働者協同組合を設立—

■労働者協同組合かりまた共働組合（沖縄県宮古市）

“小さな拠点づくり”を活用し、集落センター内に厨房を整備、地域の女性たちが復活した保育園のお昼の提供や自治会が運営する“共同売店”へお惣菜を提供。もずくや追い込み漁の加工・販売、地域の草刈りなどの業務委託を受ける。11/7総会で若者が理事長に。

—小さな拠点や地域おこし協力隊からの検討—

■小さな拠点ほたる（鳥根県津和野市）

地域おこし協力隊から移住してカフェ糧を運営する方と公民館が連携し、協同労働の学習会。地域おこし協力隊で農福連携を検討する方や、行政と連携し林業を立ち上げた方や、コワーキングスペースやシェアハウスを検討される方など、多様な方が参加し関心。

—独り暮らし、将来の不安に共に寄り添う—

■葬送&成年後見サポート結の会（東京都新宿区）

家族・地域・社会という繋がりが希薄化する現代において、新しい第四の縁として、生前から死後まで相互扶助し合えるネットワークの構築を目的とする。生前整理、自分史作成、遺言作成、成年後見サポート、葬儀などサポートを目指す。10月17日に登記申請。

—自分たちで山を開墾しキャンプ場を整備—

■CampingSpecialist労働者協同組合（三重県四日市）

仲間たちと2年間かけて木を1本ずつ切りながら山を開墾し、野営キャンプ場を整備。昨年、2,500件のキャンプ利用者が活用。3人の中心メンバーで、10月15日に創立総会を行い、同17日に登記申請。職業訓練企画や、利用者にも組合員を呼び掛け、共に働く。

—自治会を母体に小規模多機能自治組織の展開—

■躍動と安らぎの里山づくり鍋山（鳥根県雲南市）

雲南市の地域自主組織、鍋山交流センターを拠点に、学童クラブ、電気料金の検針&安否確認、深谷温泉ふかたに荘&野菜販売など多様な仕事を担い、多くの人たちが働いている。任意団体が運営する仕事の範囲を超えるなか、労働者協同組合など法人化を検討。

—多世代が繋がり、一人一人のやりがいを仕事に—

■ワーカーズ上田地域応援隊（長野県上田市）

定年退職後に、やりがいをもって地域で働く場を作ろうと声をかけ始める。200坪を開墾し家庭菜園をつくり学童の親子と野菜を栽培。営繕チームなど幾つかの活動が生まれる。地域包括やまちづくり協議会と連携した人材育成及び活動作りを助成金を活用し挑戦。